

ときめき 栗大地 さらべつ

私たちの 議会



平成 18 年 11 月 10 日
発行 / 更 別 村 議 会
編集 / 議会広報編集特別委員会

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/gikaidayori.html>



天皇・皇后両陛下が、9月9日の重陽の節句の日にご行幸啓されました。村議会議員も全員でお出迎え。

8人議会 常任委員会は2委員会か

陸別町で研修

5

一般質問 『そこが聞きたい』…1議員が2項目を問う……

4～5

◆委員会レポート……

7

◆議会日誌……

5～6



「友好の輪をさらに深める」…東松島市議員団来村…

8

第3回定例会

一般会計…1,126万円を追加補正……

2
3

■ アグリチャレンジャー事業の賃金追加ほか ■

第3回定例会

一般会計

1,126万円を追加補正 アグリチャレンジャー事業貸金追加ほか

第3回定例会は、9月21日から29日までの9日間の会期で開きました。

初日の21日は、3件の人事案件、認定6件、3件の条例改正と規約の改正2件が審議され、2日目の28日には、1人の議員が2項目について一般質問を行い、理事者の見解を質しました。

また、初日に関係する委員会に付託していた案件及び一般会計ほか4件の補正予算、意見書案などを審議、それぞれ原案のとおり可決し、会期を1日残り閉会しました。

決算認定

▼平成17年度一般会計歳入歳出決算認定の件

▼平成17年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件

▼平成17年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件

▼平成17年度老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算認定の件

▼平成17年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件

▼平成17年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件

以上6件の決算審査のため、決算審査特別委員会を設置しました。委員長に高橋功一、

副委員長に細矢右喜が互選され、11月1日、2日の両日、議事堂において審査を行いました。(詳細は次号で)

人事案件

▼教育委員の任命で渡辺正男氏の再任に同意、岡出教育長の辞任に伴う委員任命で阿部義昭氏の新任に同意。

また、箱崎氏の辞任により公平委員に山口壮氏の選任に同意しました。

条例等

▼安全で安心な地域づくり条例の制定

総務厚生常任委員会に付託され、審議されました。北海道の条例制定に伴い、村においても行政と住民との協働のもと、交通安全や防犯意識の高揚を図り、安全で安心な地域社会の実現を目指すものであり原案可決すべきものと本会議に報告し、全会一致で可決されました。

▼老人医療費の助成に関する条例の一部改正

健康保険法等の一部法律改正によるものです。「道老」と呼称される北海道の老人医療給付特別対策事業の条文整理のものです。

▼国民健康保険条例の一部改正

前記同様の法律改正によるもので、出産一時金を5万円引き上げて35万円にするものです。

▼重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正

同じく法律改正に伴うもので、条文の整理です。

▼^{あき}字の区域の変更

リラクダウン構想用地について、隣接する用地の字をまとめ、合筆を進める必要が生じたことによるものです。

▼十勝圏複合事務組合規約の変更

組合規約中、帯広高等看護学院の保健師科を廃止するた



▲更農生も安全・安心のための交通安全運動に協力

補正予算

めの変更議決です。議決に当たっては、本村教育委員会の異存がないことを確認しました。

▼一般会計補正予算(第4号)

主なものは、すずらん団地の宅地の買い戻し分281万3千円の追加と、児童手当の現行受給資格を小学校3年生から小学校6年生まで拡大するため374万円の追加、重度心身障害者の医療給付事業追加158万円の追加、アグリチャレンジャー事業(イチゴ栽培)に係る貸金の追加が111万2千円となり、追加補正額が1千126万6千円

で、総額42億3千953万1千円となるものです。

▼国民健康保険特別会計補正

予算(第2号)

予算(第2号)

事業勘定

補正予算(第1号)

高額療養費の増高による追加875万円、保健法改正による財政共同安定化事業拠出金2千598万6千円の追加

健康保険法の改正に伴う、情報システムの變更費用17万1千円を追加し、総額3億4千840万7千円となるものです。

▼介護保険事業特別会計補正
予算(第1号)

668万8千円の追加を補正し4千612万7千円を追加して、総額が4億532万7千円となるものです。

高額介護サービス費の追加220万円、過年度の精算による返還額308万4千円の追加など722万6千円を追加し、総額が2億2千996万2千円となるものです。

▼簡易水道事業特別会計補正
予算(第2号)

水道施設整備事業の委託料から工事請負費に切り替え、6万3千円を追加し、総額が5千994万4千円となるものです。

▼老人保健医療事業特別会計

木山議員 宅地分譲の買戻しは、販売額そのままか。費用の負担の有無はどうか。また、

質疑

その後の分譲方法は。

担当参事 販売額の7%、21万1千680円を手数料としていただきます。販売は、角地とあって早く販売されてい

ましたので、正式に所有してから、もう一度公開にかけ、多数であれば抽選をと計画しています。

久門議員 アグリチャレンジ

担当参事 当初計画していた研修生による受け入れ作業の中止と作業時間の延長による

ものです。

久門議員 この賃金の計算方法は。

担当参事 時給計算です。

本多議員 国保会計の繰出し

教育委員2名の任命に同意

9月30日で任期満了の教育委員会委員に渡辺正男氏(上更別南区)の再任と、任期を2年残して勇退する岡出教育長の後任の教育委員として阿部義昭氏(若葉町)の新任について同意しました。



渡辺 正男氏



阿部 義昭氏

選任同意

公平委員選任同意

郵便局長を退職、転出された箱崎氏の後任として、花園町の山口壮氏の選任について同意しました。



山口 壮氏

金の計算で、助産費が30万円から5万円引き上げと、ルー分しかありませんが、全国一律の取り扱いから、独自の上乗せの想定は。

助役 現行の出産祝い金5万円、どろぐり保育所に対する支援など、少子化に対する有効な手立ては、育てやすい環境の整備と考え、新たな施策は検討していません。

赤津議員 国保の補正の歳出

が、具体的なサービス・恩恵は。

担当参事 ヘルスアップ事業と称されるものです。習慣病の一次予防を中心に被保険者の自主的な健康管理と、疾病予防を推進するというところで

専門家を活用したプログラムに基づき事業を進めます。課が連携して村では4カ年の事業を実施する予定で、毎年20名ほど抽出して行います。全額補助金の予定です。

第3回臨時会 7/14

▼平成18年度一般会計補正予算(第3号)

道路の補修工事費1千460万円等を追加し、合計補正

額は、1千657万3千円、総額が42億2千826万5千円となるものです。

第4回臨時会 10/16

▼更別村過疎地域自立促進市町村計画変更の件

リラクタウン構想の実施など、事業追加等の変更によるものです。

▼村道路線認定の件

同じくリラクタウン構想での道路を新設するものです。

▼財産取得の件

同じくリラクタウン構想での宅地分譲用地等を取得するものです。

補正予算

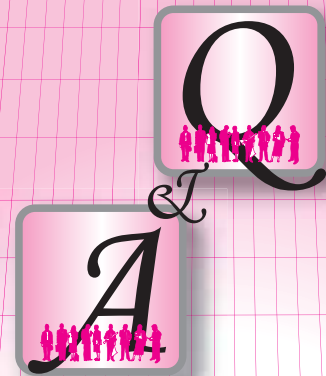
▼一般会計補正予算(第5号)

主なものは、土地の取得で3千688万3千円を追加し総額42億7千641万4千円になるものです。

▼介護保険事業特別会計補正

予算(第2号)

財政安定化基金拠出金として20万4千円を追加し総額2億3千16万6千円になるものです。



そこが聞きたい

いっぱん

質問

第3回定例会は1人の議員が2項目について一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

「不登校生徒」の対応は

長官
教育—学校及び適応指導員体制で改善の状況にある



久門議員

久門議員 本村の学校教育行

政の充実に関して、次の2点について教育長の所見を伺います。

- ① 本村小・中学校における「習熟度別授業」の実施状況について
- ② 小・中学校でのいじめ・校

内暴力・中学校における不登校の状況について

教育長 一点目の習熟度別授業についてであります

が、学校の規模、クラスの状況から、クラス分けなどによる、きちつとした形の「習熟度別授業」は実施していません。このため、個々の習熟度に応じ、学力が身に付くよう工夫した指導を実施しており、個に応じた指導が十分なされております。更別小学校では、4年生38名ですが、教員1名の追加配置で1クラス2名の体制で指導

の充実を図っているところであります。中学校では、1名追加配置で1クラスを2グループに分け少人数指導をしております。

その効果として、児童生徒の学習意欲の高まり、基礎学力の向上がみられるところであります。

二点目のいじめ・校内暴力は実態では、村内小中学校では、見られない。特に本村では少年団、部活動が活発に行われており、防止効果を挙げているところであります。

次に不登校であります。中学校では、相談室等への登校が若干名、病気・体調不良による長期欠席の生徒がみられますが学校及び適応指導員の相談活動などで改善の状況にあります。

不登校・いじめ・暴力行為は、いつでも、誰にでも起こりうるものと考え、今後とも、常に子供たちの状況把握に努めてまいります。

障害者の一割負担について、村独自の軽減策を検討せよ

長—トータル的な実態を把握した中で検討

久門議員

① 障害者自立支援法の施行に伴い、10月から更別村が実施する「地域生活支援事業」の内容と、また一割負担について、村独自の軽減策を伺います。

② 障害者の雇用促進について
 ③ 「障害福祉計画」の策定をどのように進めているのか
村長 1点目の障害者に対する福祉サービスの内容で、村

が10月から実施予定のものが5点ございます。●相談支援事業●コミュニケーション支援(手話通訳)●日常生活用具の給付●移動支援事業●その他(訪問入浴サービス)

また、村独自の軽減策については、平成21年4月に民間社会福祉法人が本村に開設を予定している、障害者福祉施設など利用者の所得分布など

の作業もこれから始まるわけで、現時点では対象者の把握が難しい状況である。更には高齢者の介護サービスとの均衡、そういったトータル的な実態を把握した中でバランスのとれた検討をしてみたい。

状況にはあるが、これからも法律の趣旨に従って鋭意努力をしてみたい。

3点目の本村の「障害福祉計画」の策定につきましては、それぞれサービスを受けている方の状況を把握、年内には計画の骨格を審議会に報告、2月には、策定を完了させたいと思っております。

改正。議員の複数の委員会所属が可能となり、他の少数議会でも二つの委員会設置を模索する声もあり、今後は「分権時代に入り地方議会の役割は増してくる」との指摘があります。議会が使命を果たすか、衰退するか、それはそのまま自治体の命運であり、本委員会として、更に深く議論を重ね条例改正案を提案したいと考えています。

8人議会

常任委員会は2委員会か

議会運営委員会(細矢右喜委員長)は、11月19日に陸別町議会を訪問しました。本村は次回の選挙から8人議会が決定しています。将来の議会運営のあり方や課題など意見交換をしてみました。

陸別町議会は、現在試行で2常任委員会を1常任委員会に、併せて議会運営委員会と広報委員会を廃止。議会運営は議長・副議長・常任委員長

の3名による運営で、名称を「三役会」として実践中です。課題は「意見集約が困難」

「集中力の問題」「議員派遣等の取り扱い」「委員長の負担の増大」「住民付託に込めるの十分な活動の難しさ」等々

定数削減が議会運営に微妙な影を落としていることは否定できません。その一つが議会運営です。

「試行して1委員会の数々の課題が見えてきた今後は、2委員会を更に検討したい。」

(陸別町村松委員長)と漏らしていました。地方自治法が明年4月から

先進地陸別町議会へ研修



7月	24日	一般廃棄物最終処分場先進地視察(宮崎県大分県)に議長出席
28日	南十勝町村議会議長情報交換会に議長出席	
8月	4日	議会広報編集特別委員会
7日	更別農業高等学校校舎等の早期改築整備要望に議長出席	
10日	十勝圏複合事務組合議会・十勝環境複合事務組合議会・十勝中部広域水道企業団議会に議長出席	
21日	総務厚生常任委員会	
22日	産業文教常任委員会	
23日	議会広報編集特別委員会5名出席	
24日	新しい支庁の姿(骨格案)に関する地域意見交換会及び市町村合併説明会に議長出席	
27日	介護保険推進全国サミットinほんべつに議長出席	
29日	自衛隊帯広地方連絡部創立50周年記念行事に議長出席	
9月	1日	中川町議会総務常任委員会行政視察で7名来村
		更別村功労者表彰に全議

EXTRA!!! The Times EXTRA!!!

委員会 レポート

総務厚生常任委員会

▼調査事項

- ①村有財産(村有地)の管理状況及び遊休地等について
- ②リラクタウン構想について

▼調査日時 8月21日

▼調査の結果

- ①行政財産及び普通財産(土地)合わせて1千686・97畝で、この内、普通財産の管理状況等について説明を受けました。総面積は、宅地0・74畝・その他79・0畝・山林171・2畝となっており、14件が貸

付されていきました。中に、長期契約で契約満了期間の近いスモモの里については、オーナーを交えて検討中であると報告されました。

全般的には良好な管理で貸付け状況も適切でした。委員から、長期貸付の契約書類の確認、遊休地の状況を常に把握しておくようにと意見が出されました。

②産業文教常任委員会と合同で、関連する調査としてリラクタウン構想の概要説明

産業文教常任委員会

▼調査事項

- ①作況状況調査について
- ②アグリチャレンジャー事業の進捗状況について
- ③ポピーマートの状況について

▼調査日時 9月12日

(8月21日合同委員会)

▼調査の結果

①作況状況については、資料に基づき、現状の生育等の報告のあと、村内7箇所の圃場を調査しました。8月以降の好天により回復したものの、収穫を終えた小麦

を受けました。民有地を約6畝取得予定であり、この内2畝は、民間の福祉法人が取得し、「小規模特別養護老人ホーム」等を建設予定であること。法人借入金

の3割程度を村から助成予定であること。同じく法人運営の障害者関連施設等は、法律の内容が明確でない部分があることから後年次となることなどが説明されました。

この福祉施設の後押しにもなる定住化・雇用対策のた

や馬鈴薯について減収傾向にあり、村内全般では、圃場や地域により差が大きく、平年作を下回る状況にあるとしました。

②アグリチャレンジャー事業でのイチゴは順調に成育し、収穫期を向かえ、問題はないうように思えました。しかし、事業当初計画の研修生受入れは、本年の各種データを検証してからと変更。委員会も今後の十分な検証が必要としました。また、この事業の定住化

めの宅地分譲が主であり、現在では村の分譲地がほとんど残っていない状況も報告されました。

委員会としては、小規模特養の必要性の意見がある中、やっとな報われようとしていることと、関係機関との数多い協議の経過、有利な助成を得ようとしていることなどから、今後もよりよい方向に向かうようにと結論付けました。



▲産文委の作況調査

厳しい状況にあつた店舗も改善計画に基づき、店長を中心に各種の努力の結果、昨年の売り上げも伸び、赤字解消に向かっている状況にあるが、固定経費の見直し、地域住民の意識の改革が必要としました。

TOPICS

村議会



北海道町村議会議長会表彰 議長と2名の議員に

このほど、北海道町村議会議長会において、議長職を7年以上務めた渡辺議長と、議員として15年以上務めた小澤庄一議員、高橋功一議員が表彰されました。＝写真＝

地方自治振興発展に寄与された3名の方への表彰状伝達が本会議の開会前におこなわれ、同僚議員から大きな拍手が送られました。

「議会広報のつくりかた」 全道議会広報研修会

8月23日に北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が札幌市で開かれ、赤津議会広報編集委員長以下5名の委員が出席しました。

研修会では、今年も広報プランナー和田雅之氏により、見出

しは「水先案内人である」ことや、記事、見出し、写真、余白の割合、事例の記事を元にその良し悪し、用語の問題点等を学びました。

また、「先を見越した企画の重要性」、「慣習を打ち破る勇氣」など知的エネルギーを吸収できる紙面づくりが重要であることが強調されました。

各委員は今後の議会だより編集の心構えと留意点について研鑽を深めてまいりました。

第1回2村議会議員交流会 安村村長の講話を聞く

10月3日に本村議会と中札内議会の2村議会議員交流会がカントリーパークを会場に開催されました。

忠類村が幕別町と合併し、旧来の3村交流会はなくなりましたが、隣村同士の連携・協調は



極めて重要であり、2村の交流会に改めて発足したものです。

研修会では、安村村長から「村づくりに関する講話」＝写真＝で、定住化など攻める村政の重要性が強く訴えられました。

このあと、パークゴルフなどで交流を深め、意義深い秋の1日を楽しく過ごしました。

友好の輪をさらに深める 東松島市議員団来村

友好姉妹都市の東松島市議会の渡辺副議長を団長に、5名の議員が更別村を訪れました。＝写真＝2泊3日の短い日程でしたが、秋の深まり行く十勝野で展開される大型農業に終始圧倒されたとのことでした。



両市村の友好の輪、絆を更に強固にすることを確かめ合った、極めて有意義な交流会となりました。



▼更別村の「リラクタウン構想」がいよいよ来年度から事業着手となる。去る9月25日、事業主体の村と福祉施設の民設民営となる社会福祉法人との協定書の締結がなされた。この構想は複数の福祉施設や住宅などを集合立地させるものでその計画の概要では、●小規模特養(29人)は20年4月開設予定●小規模多機能型居宅介護事業所(小規模特養に併設)21年開設予定●障害者通所授産施設など21年開設予定●宅地分譲は19年度秋には第一期分の売出を予定●地域交流施設・公園など▼福祉の里一帯に保健・福祉、医療施設を有機的に活かしたまちづくりである。

▼我が村を終わる住み家としていと望む多くの村民の声を集積した「リラクタウン構想」▼誰もが何年か後には、村の福祉施設や医療、介護サービスの世話にならないとは言い切れない。▼この構想が円滑に推進されることを願うものである。

(久門委員 記)